

塩原の旅 2025



2025 年 5 月

旅のチカラ研究所 植木圭二

5 月の中旬、仲間たちと栃木県の塩原温泉に行ってきた。川沿いの遊歩道を歩き、リゾート施設で BBQ をしてコテージに泊まって大いに飲んで楽しんできたので、ここで報告したい。

■歩こう会

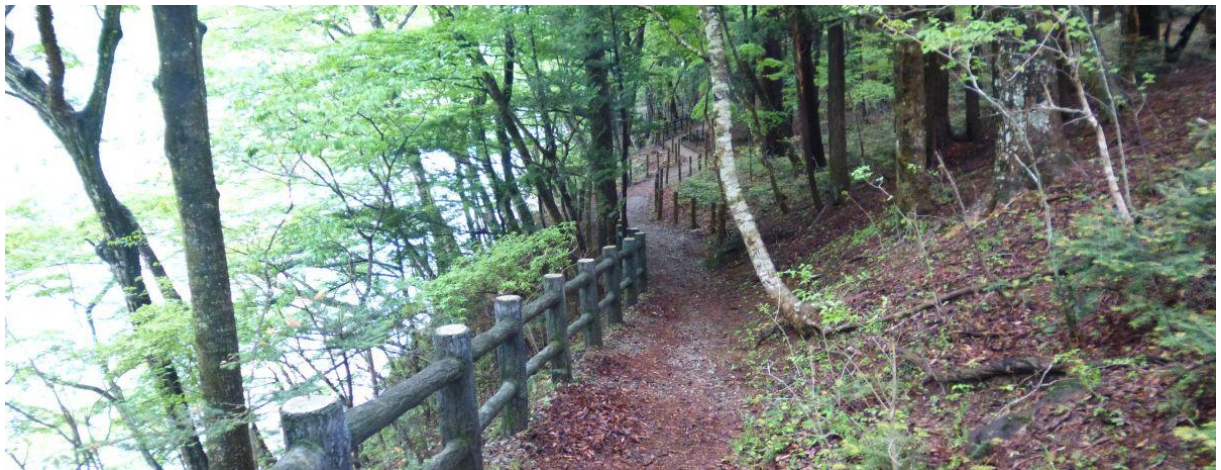
私が定年まで勤めていた会社の OB 会に「歩こう会」という歩くことが好きな連中の集まりがある。ただこの歩こう会は別名“アルコール会”とも呼ばれており、参加者たちもそれに反論せずに楽しく歩いて楽しく酒を飲むということを本望にしている。

歩こう会のイベントは日帰りが多いが、今回は 1 泊 2 日で塩原温泉のリゾート施設に泊まることになった。

そして本日、集合場所の JR の西那須野駅に行くと、健脚ぞろいでアルコール大好きなおじさんたち 11 名が集まっている。

■塩原溪谷遊歩道やしおコースを歩く

私たちは塩原温泉ビジターセンターまでバスで行き、「塩原溪谷遊歩道やしおコース」の遊歩道を箒川（ほうきがわ）沿いに下流にむかって歩き始める。



【「塩原溪谷遊歩道やしおコース」の遊歩道 左が箒川】

ビジターセンター近くの箒川の両岸には「七ツ岩」という奇岩がある。確かに名前どおりに大きな岩が7つくらいある。

「野立て岩」という岩がある。これも岩の上でお茶を立てたからその名前になったのだろう。野立て岩の背後の山が高く急峻で、上の方は雲がかかっており、山水画の世界のようになっている。この景色を観ながら茶をたしなむとは、なかなか昔の人は乙なものだと感心する。



【七ツ岩】



【野立て岩の背後の山】

遊歩道はアップダウンがそれなりにあるものの、比較的よく整備されている。ただし5月の土曜日の午後だというのに、あまり人と会わない。

そう思っていたら前から男女混成の30人くらいのグループが歩いて来る。

向こうからもこちらからも「こんにちは」と声を掛け合う。私が「どちらからですか？」と聞くと、「桐生からです」と返って来る。

何と、桐生は私の出身地だ。すぐに私は「桐生高校は私の母校です」と言うと、ある男性が「私も桐生高校ですよ」と返ってくるから、まるで同窓会で旧友に会ったような気分なる。

私は「どんな集まりですか？」と聞くと、ある女性が「仲良しグループです」と答え、そして隣の男性が「老人会ですよ」と付け加える。すると別の女性が「スポーツクラブです」と打ち消すようにやや強い口調で言ってくる。

やはり女性は格好良く見せようとする。

真実はともかくも、私は「凄いですね」と言うに留めて、双方が「頑張って下さい」と言って別れる。



【アップダウンのある坂道】

■塩原御用邸跡

格式ある建物がある。「天皇の間記念公園」という看板があり、塩原御用邸跡と書かれている。

私は那須の御用邸は知っているが、塩原にも御用邸があったことを初めて知る。他の参加者たちも知らなかったようで、皆驚いている。

看板にはこう書かれている。

この建物は三島家別荘として1884年（明治17年）に建造された。その後に御用邸として献上され、増改築を繰り返し、1939年当時で敷地約1万5500坪、建坪3000坪、敷地内に温泉も湧いていた。戦後まもなく塩原御用邸は廃止され、厚生省の管理になった。その後、現在の場所に移築されて、視力障害者向け施設として2013年まで使用された。

建物の中に入ると、その質感に驚いてしまう。母屋は数寄屋造りで、床の間・床脇があり、天井や壁は宮内庁独自様式で、民間とはレベルの違う明治建築を見ることができた。



【旧塩原御用邸の外観と内部】

さらに歩いていくと林の中に足湯を発見する。地元の人たちが手作りした感じがするが、結構立派な造りをしている。何よりもお湯が勢いよく湧き出ているから凄い。やはり塩原は栃木県屈指の温泉地だ。

近くに足湯ではなく温泉小屋もあるが、こちらは閉鎖されていて入れない。



【足湯】

■塩原グリーンビレッジ

1 時間くらい歩いて本日の宿泊地「塩原グリーンビレッジ」に到着する。

この施設は、キャンプ場やコテージなどを中心にレストラン、立ち寄り温泉施設、温泉プール、テニスコートなどがそろった総合リゾート施設になっている。

私たちは、汗を流すために施設内の温泉大浴場に入る。ただ汗はあまりかいておらず、汗を流すよりもビールをどれだけ美味しく飲むかというのが本当の理由かもしれない。

■BBQ（バーベキュー）

夕食は BBQ で、自分たちで炭火を起こす作業から始まる。「火起こしならオレに任せろ」という先輩がいて、炭に火を点けるがなかなか火が起きない。おそらく昔は簡単にやっていたという成功体験があるのだろう。でもそれは何十年も前のことだ。

“昔取った杵柄”という言葉は、若い頃に身につけた技能は衰えないことを意味するが、私の感覚では“昔”ならよいが、“もっと昔”はそうはならない。

私も高校生の時にギターをやっていたが、およそ 50 年ぶりに復活させようと試みたがなかなか上手くいかなかった。

昔取った杵柄の“昔”とは、人生 50 年の時代のことで、それは 20 年前か 30 年前になるのだろう。現在は人生 100 年時代になっており、50 年以上も前のものは通用外だろう。

私たちが火起こしに難儀している様子を見かねて、施設のスタッフが助けに来てくれて一件落着する。

そしてようやく BBQ が始まる。といっても火起こしをしながら既にたっぷりビールを飲んでおり、皆はほぼ出来上がっている。さすがアルコール会だ。



【BBQ の火起こしの様子】

■コテージに泊まる

宿泊するコテージは若い人やファミリー向けにできている。そのため洒落た造りをしており、ロフトがあって、そこでも寝るようになっている。

しかしロフトで寝るにはとても急峻な鉄製の梯子を登らないといけない。それは高齢者にとっては命の危険を感じると言っても過言ではないほど危ない。

そこで参加者の中でも若手の部類に入る私と、もう 1 人がロフトに寝ることになる。それでも酔っぱらっていると、かなり危ない。

翌朝はコテージのエリア内にある無料の温泉露天風呂に入浴する。朝から温泉に浸かれると思ってもいなかったが、小鳥のさえずりの中で新緑の木々の間から青空が見えるというロケーションに感動してしまう。



【コテージ】



【露天風呂】

若い父親が子供連れで入ってくる。天気の話からキャンプの話題になる。そして父親は焚火の火起こしは子供がやっていると言っている。

私は、この子供が 50 年以上経ってから、火起こしで難儀する姿を想像してしまった。

■旅の記録

実施は 2025 年 5 月 10 日（土）～5 月 11 日（日）の 1 泊 2 日で、その行程を示す。

- ・ 1 日目 13 時 30 分に JR 西那須野駅に集合、バスで塩原温泉 BT に行き、塩原温泉ビジターセンター、塩原溪谷遊歩道やしおコースを歩き、セツ岩、野立て岩、福渡不動吊橋、塩原御用邸跡、不動の足湯を見物、16 時塩原グリーンビレッジ到着、入浴、BBQ、コテージ泊、歩数は 13740 歩
- ・ 2 日目 露天風呂に入り、レストランで朝食を食べ、9 時にコテージ出発、塩原溪谷遊歩道やしおコースを歩き、箒川ダムを渡り、「そば八」で昼食、12 時 50 分のバスで西那須野駅へ戻り解散、帰宅する。歩数は 12763 歩

費用は約 19000 円になった。詳細は以下に示す。

参加費	10000 円（1 泊 2 食コテージ泊、宴会費）
電車代約	5000 円（自宅から西那須野往復 ジパング倶楽部で 3 割引）
バス代	1980 円（西那須野～塩原温泉往復）
昼食	約 2000 円（1 日目、2 日目の 2 回分）